

アジア13か国のワインバイヤーがソウルに集結！ 初開催の「カリフォルニアワイン・バイヤーズ・マー ケットプレイス：アジアエディション」を成功裏に実施



カリフォルニアワイン協会（CWI）は、2025年9月22日（月）から24日（水）まで、JWマリオット・ソウル（韓国）にて初の「カリフォルニアワイン・バイヤーズ・マーケットプレイス：アジアエディション」を開催しました。

本イベントは、ナパ・ヴァレーで行われるカリフォルニアワインに特化した試飲商談会「グローバル・バイヤーズ・マーケットプレイス」のアジア版として位置づけられ、70以上のワイナリーから出展された750種類以上のワインが紹介されました。北アジア、大中華圏、東南アジアの13か国から主要バイヤーが一堂に会し、アジア全域におけるカリフォルニアワイン・ビジネスの拡大とネットワーク構築の場となりました。

世界第4位のワイン生産地であるカリフォルニアは、アジア向け米国産ワイン輸出の95%以上を占めています。2025年7月までのデータによると、今回のイベントに参加した国（中国本土を除く）への輸出は前年同期比で10%以上増加しており、アジアでのカリフォルニアワインへの関心と需要の高まりがうかがえます。

中国本土、香港、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、そしてホスト国である韓国から参加した輸入業者、ディストリビューター、小売バイヤーは、自社のカリフォルニアワインのポートフォリオを拡大・多様化するべくソウルに集結しました。

CWI国際部長のオナー・コンフォートは次のように述べています。

「初開催となる『バイヤーズ・マーケットプレイス：アジアエディション』の盛況ぶりと積極的な参加姿勢は、この地域におけるカリフォルニアワインの大きな可能性を示しています。多様な国からの参加は、我々のワインが持つグローバルな魅力と、バイヤーの品揃え拡充への関心を如実に示しています。」

2日間にわたり、参加者はグランドテイasting、商談、教育セミナー、ネットワーキングディナーに参加し、カリフォルニアワインの多彩な魅力を体感しました。

世界のワイン市場が進化を続ける中、CWIは、アジア市場へのカリフォルニアワインカテゴリの拡張を支援する取り組みを今後も続けてまいります。

■基調講演セッション

カリフォルニアワインのユニークな特性や業界動向について知見を深めました。パネルディスカッション「アジアにおけるワイン産業の現状」には、IWSRアジア太平洋地域リサーチ責任者サラ・キャンベル氏、コンステレーション・ブランズ グローバルマーケティング担当アンナ・ハイン氏、ニンビリティCEOでサマーゲート・ワインズ共同創設者のイアン・フォード氏、そしてCWI北アジア豪州地域共同代表の手島孝大が登壇しました。

■特別セミナー

著名なカリフォルニアワインの専門家による特別セミナーも開催されました。テーマは「Beaune in USA」「カリフォルニア・カベルネ・ソーヴィニヨンの没入体験」（エヴァン・ゴールドスタインMS）、「カリフォルニアの白ワインとスパークリング」「持続可能性におけるカリフォルニアの先進的取り組み」（イレーン・チューカン・ブラウン氏）など。

■アジア13か国のバイヤーとの交流

1対1の商談やネットワーキングディナーを通じて、カリフォルニアのワイナリーは厳選された参加者に直接ポートフォリオを紹介し、多様なバイヤーとの交流を深めました。

ランゲツインズ・ファミリー・ワイナリー＆ヴィンヤーズ 国際営業ディレクター ジョセフ・ランゲ氏は次のようにコメントしています。

「ソウルでの『バイヤーズ・マーケットプレイス：アジアエディション』は、アジア各国の意欲的な輸入業者とつながる素晴らしい機会でした。セミナー、ランチ、ディナーを通じてバイヤーと交流できたことは、本物の対話と長期的な関係構築につながり、持続的成長には不可欠です。こうした取り組みを拡大することは、ランゲツインズ、ローダイ、そしてカリフォルニア全体の市場シェア拡大に重要であり、次回も参加を楽しみにしています。」

出展ワインブランドリストは[こちら](#)よりご覧頂けます。

本イベントの開催模様は[こちら](#)よりご覧頂けます。

カリフォルニアワイン協会「カリフォルニアワイン輸出プログラム」について

1934年に設立されたカリフォルニアワイン協会（California Wine Institute）は、米国農務省（USDA）のマーケットアクセスプログラム（MAP）の管理機関であり、米国ワイン生産量の80%、輸出量の95%を代表しています。142か国に輸出する200以上のカリフォルニアのワイナリーが本プログラムに参加。30か国以上の市場開拓をサポートするため、主要輸出市場に15名の現地代表を配置しています。

本プログラムは、ワイナリーの拠出金とUSDA MAPによる官民パートナーシップで運営され、カリフォルニアの多様なワイン産地、理想的な気候、持続可能な取り組み、アイコンックなライフスタイル、そしてローカル食文化を世界に発信しています。さらに、国際的な規制協力、貿易障壁の撤廃、輸出拡大を目的とした包括的な国際政策活動も実施しています。

カリフォルニアワイン協会（California Wine Institute、略称CWI）について

カリフォルニアワイン協会（本部・カリフォルニア州サンフランシスコ）は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界18か国に事務所を置き、世界30か国以上でマーケティングとプロモーションを実施しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年185以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、142か国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に1985年に設立されました。

カリフォルニアワイン協会公式（CWI）ホームページ（日本語） www.calwines.jp

< 本件に関するお問合せ先 >

カリフォルニアワイン協会（California Wine Institute 略称CWI）PR事務局

担当：今上 貴子（いまうえ たかこ）

メール：jpmedia@wineinstitute.org 電話：080-3607-5050